時事新報

第千四百三十八號
明治十九年十一月二十日土曜日
舊丙戌十月廿五日（甲申）
日出午前六時四十二分　日入午後四時二十九分
月出午前零時十二分　月入午後一時二十四分
滿潮午前十一時四十二分　午後
（西暦一千八百八十六年）

時事新報

國の面目を重んずる人の注目すべきは
ノルマントン號の外にも其事あり

今回英船ノルマントン號が紀州大嶋近海にて難破の時船長以下廿餘名の船員は一人の過ちて水に落ちたる者を除くの外皆無事ゞ端舟ゞ移りて助命を得るに獨り船客の日本人廿餘名に限り本船ゞ在りたるまゝ船と共ゞ海底に沈みて一人の助命したる者なかりし事とて餘りに不思議なる出來事にしてこれを聞く者内外人の別なく皆其心に不快の感を覺へざるはなかりし然れども初めこれを聞て俄かに人心激昂の有樣を見ざりし所以は當時船長以下船員一同神戸の英國領事廳にて審問を受くるの最中なれば追て船長以下は嚴しく同領事廳の責罰を蒙ることなるらんと毫も其間ゞ疑を挾まざりしが爲めなるらん然るに同領事廳の判決は衆人の意外に出で船長以下の所爲には毫も間然する所なし唯廿餘名の日本人は無知頑陋人の救助せんとするを肯んぜずして自ら[illegible]藻屑と化したると憐れむべきありと公言して船長以下皆無罪放免と爲りしと見て人々は玆めて悲憤の色を顯はしさてこそ今日の如く全國の人心動搖して未だ其底止する所を知らざるものなるらん蓋し人々の心中を察するに廿餘名の不幸の死を哀れむの心の切なるは則ち切なるに相違なしといへども他に又一層切なるは國の面目を思ふの心なるべきや甚だ明白なるが如し古來日本人は武斷專制の下ゞ屈伏して言行の自由を得ず我慢を訴へ之我意を表せず柔和忍辱以て人に接し唯竊かに我好惡を含む所と腹議するの習慣ありしが此習慣は内國の治安に關して俄かに差支へを見ざるやうなれども外國との交際に當ては忽ち非常の故障と爲し柔和は卑屈と思はれ而れなたり人ゐ向て喜怒哀樂の情を表せざるは無感覺の痴漢なりと認定せられ爲めゞ常に侮慢凌辱を蒙るの不利益ありて云ふべからず卽ち人の己れを敬重せんことを欲せば己れ先づ自らふ我身を敬重し亦其自から敬重する所以を人に示さゞるべからずとの訓誨を實驗上に習ひ得るもれにして斯くして以て日本人も漸く前日の非を悟りさては今回ノルマントン號の事件をも一の好機會として直ちゐ我思ふ所を筆舌ゐ言はせ又行爲に示したるものなるべし果して我日本人にして國の面目を思ひ平常これを愛護して人に後れを取らざることの必要なるを感じ又其感情を人に示すの好機あらば細大漏らさずこれを捕へて毎度自から利するの甚だ大切なるを合點せんには今の人事は多端なる外國交際の頻繁なる日々時々細大の好機會の如くゞして一々これを利用するゞ日も亦足らざる程なるべし先づ差當り目前は事に付て申せば彼の長崎事件の如き無論其一ゞ數ふべきものなるや明白なり讀者も記憶せらるゝ如く長崎事件と申すは本年八月十三日及び十五日の兩夜長崎は市中に於て當時同港碇泊の支那軍艦數艘の水兵が元とはといへば醉狂の小事件より大事を企て夜陰に乘じて市中に亂暴し警察署を襲撃せんとして一方は支那水兵一方は日本巡査長崎市民との間に一大爭鬪を惹起し双方を合して殆んど百名に近き程の死傷者を生じたる一事をいふなり爾來此事件は日支兩國官吏の談判に上り其手續等は種々變化せし後今は遂ゞ兩國の委員會てふものを開き日本方は長崎縣知事日下義雄、外務省取調局長鳩山和夫、同省法律顧問デニソンの三氏支那方は理事蔡軒、參贊官楊樞、代言人ドラモンドの三氏が長崎に會同して當時の事實を調査し開會既に四十回の多きゞ及べども未だ其事を了らず近日の報道に依れば右委員會も何か不調和の事ありて會務を中止したりとかいへり其事情は固より我輩の詳知せざる所なれども兎ゞ角ゞ此委員會の數箇月に亘りて事の甚だ長引くさへ人々の共ゞ憾とする所なりしに今又遂に中止しるりと聞ては爲めに大ゞ其感情を傷めざらんとするも得べからざるの事情なるらん蓋し此長崎事件に關しては當初より既に輿論の定まるあり我輩の如きも其以來毎度意見を吐露して曲全たく支那水兵に在りて日本巡查及び長崎市民ゞ在らず支那人の口實とする水兵の死傷は巡查市民よりも多し水兵の疵所い多くは背部ゞ在り十五日騷動の當夜長崎警察官が騷動半なゞまて臨機ゞ艀舟の往來を差止めたる事の如きは少しも水兵の無罪を證するゐ足らざるの理由と論じて却て兩國委員會が事實を調查するに何の面倒ありて斯く遲延するやを疑ふばかりなりしなり今や此委員會も中止したりといへば其目的とする所の事實は調查は遂ゐ何れの日月ゐまで延引すべきや知るべからず甚だ痛心の事なりとは云へ事体固より甚だ大切にして永久に延引せしむるを得べき性質のものにあらざれば早晩事實の調査も了り公然明白に此非難すべき長崎事件ゐ付き其曲直の在る所を世界ゐ告示するの時節あるは必定にして苟くも國の面目を思ふ人々の刮目注意そべき事柄なるべし

雜報

○日米間の貿易　我々は頃日合衆國政府ゞて本年出版したる合衆國貿易の關係と題する一書を得たりゞの書は同國の各國駐箚公使より本國の政府に報告しるる一昨千八百八十四年及び昨千八百八十五年の兩年間の貿易の景況と編纂したるものにて同國と世界各國との貿易の關係は網羅して遺す所なし我々は今其中より殊に日米兩國間の貿易に關する一項卽ち東京駐箚同國公使ハッバート氏が本國政府に上申したる報告書を摘譯して讀者の一覽に供すべし

日米兩國間の貿易に就てハッバード公使の報告

日本の輸入及び輸出の總額は年々六千百八十三萬七千四百五十六弗ゞして其中合衆國との取引は年々千五百五十七萬三千五百十弗に達せり日本は年々各國に輸出する總額の三分一餘を合衆國に輸出し而して合衆國より日本ゞ輸入するものは僅かにその輸出額の五分一に過ぎずその故如何といふゐ日本い廣大なる我共和國ゞその人民たるを知らざるが爲にあらず何となれば日本は世界の諸國中米國及び米國人と親愛するゐと恐くは他國に讓らざるべければなり日本人は常に我米國の公正にして且つ寬裕なる過待と受けるり卽ち我が米國人は日本に平和若しくはその境界を攪亂しるる事なく又ろの近隣なる印度、支那、緬甸、朝鮮等を劫ゐしたる事なし又我米國人は常に日本が開化の域に進み教育、財政、法律の整頓して身体及所有權の鞏固なるを公認せり我米國は曾ゞ日本の進步を公認するのみならず亦大ゞ之を稱賛祝賀したりさきゐ日本の官民も亦深く之を德とし米國人民なる名稱と恰も昔時の羅馬市民の名稱の如く日本全國内を通過そる無形の旅行免狀となりたる程の次第なるゞ日本の英國より輸入そる物品は米國より輸入そるもれゞ五倍し而して日本の英國ゞ輸出する物品と米國に輸出するものよりも五倍少なし且つ日本より米國ゞ輸出する一千一百萬弗ゐ價そる生糸及び茶は輸入税と徴せざるに之に反して米國より日本に輸出そるものはその輸入税を拂ひ居れり今日までの處ゞては米國の製造品はろの綿たり毛たり鐵たり蒸氣器關たり其他の器械たるに論なく曾て日本ゐ向てその販路を求むるの煩勞を取りるるあとなし今日本の人民は其數三千七百萬人にして冬季ゞ於ては何れも木綿もしくは毛布の衣服を要する事なるにろの國内にては未だ毛布又は綿巾製造の業起らざると以て勢之と海外に仰がざると得ず英國は製造家は早くも玆に着目し日本人は衣服に適する布巾の寸尺模樣を取調べたる上にて匂配はや英人は速に紡織器械の規模を替へその幅、廣さ模樣等に至るまで恰も日本人の嗜好ゞ適する毛布及び木綿を織出したるに大ゞ好結果を得て捌方甚だ宜しかりし然るに我米國の製造家は恐くは唯その國内の需用巨額なるゐ依頼して單に日本一國の市場に供給そる物品を製する爲めにろの製造器械は規模を變ずる事をなさず終ゞその市場をして英國製造家の手に落しめるるなり

然れども今後ゞの勢と變せしむるゐと敢てなし難たにあらず今夫れ米國は日本に最近の國にして汽船にて桑港より橫濱に航するに僅か十八日を費すに過ぎず時によりては十四日に達するゐと得べし然れども倫敦より橫濱に航するゞは三十五日を費さゞるを得ずレール用の鑄材及び鋼鐵レールの供給の如きは我米國は英國に及ぶ能はずと雖ども鐵道用の釘、車輪、客車、荷車、機關車及び其他諸器械の供給に至ては我米國も世界到る處の市場ゐ於て十分ゞ英國と競爭することと得べきなり現に米國が是等の物品を南亞米利加に輸出するといへ英國より輸出する處より多く而のみならず米國より機關車及び諸器械を年々濠洲及びニュー ゼーランドの英國殖民地に輸出するものは其額實に少小ならざるなり然らば則ち何ぞ獨り日本にのみ輸出そる能はざるの理あらんや唯我米國の製鐵家は正に勇往進取すべき機に際して徒らに逡巡退歩しるるのみ今や日本にては總ての鐵道線路及び其支線は政府の監督に屬し而も大抵はその所有に歸そるものなりされば米國にして鐵道用に關する諸器關諸道具を他の諸國より廉價に輸入するに於ては日本市場に適當ゞ此等の物品を供給するゞ於て何の難きことゝろ之なからん我々米國人は唯日本と適當なる貿易をなすの外素より兩國間の商權と專有そるが如きの意志あるものにあらざるなり

蓋し米國一般の人民ゞして是等の事實を知らんと欲せば須らく委員を日本に送り兩國間貿易の景況を視察し兼て之を奬勵するの手段となすこと緊要ならんと信ずるなり

千八百八十五年十一月二十三日
日本東京合衆國公使館に於て
リチャード ビー ハッバード

次ゞハッバード公使は千八百八十六年二月十二日と以て本年二月三日の時事新報に掲げるる日本と米國との貿易と題そる社說を摘譯して同政府に報告したり

又千八百八十六年四月二十二日の報告ゞ於ては千八百八十五年度の日本と合衆國、英國、獨逸及び佛國との輸出輸入れ表と揭ぐ日米間の貿易い年々增加の勢あるゞも拘はらず日本より米國ゐ輸出するの高は大ゞ米國より日本に輸入そるの高に超過することを示し終りに左の二項を附記したり

日米間貿易の不平均を整理そるの方策

抑も日米兩國間の貿易は何故にそれ不平均を得ざるか將るその不平均は何が故に生したるかは今更疑を容るゝゞ足らざるを以て玆に論議する事をなさゞるべし蓋しその結果たるや我合衆國政府が自由貿易と主義として無稅に海關を經過せしむるが爲にならず又之を以て兩國の人民間ゐ愛憐友誼の情を欠くが爲めとなそべらず將た又之を以て日本政府が政事上の理由と以て歐洲各國の意に投せんと欲して外國より物品を輸入するに英國、佛國及び獨逸に厚くして獨り我米國に薄きが爲なりといふの說ゞ至ては其最も誤れるものといふべし此